



北海道 2億年の成り立ち

北海道の中央には日高山脈とサハリンに続く南北の山地があり，その東西両側は火山地帯です。このような地形は，長い時間の中で地球変動によって造られてきたものです。本講座では，2億年以上にわたる北海道の地球学的歴史をひも解いていきます。



講師：川村信人（北海道総合地質学研究センター）北海道大学理学部卒業，理学博士。
北海道をはじめ日本列島の過去の地層・地質体の研究に従事。

日時：2024年12月7日（土）13:30-15:30（13:15 開場予定）

会場：かでの 2.7 北海道立道民活動センター 730研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）

参加費：1,000 円（会員・高校生・学生は半額） 参加定員：50名

申込期限：2024 年12月5日（参加定員まで余裕があれば前日まで受け付けます）

参加申込・問合せ先：E-Mail: office@hrcg.jp ※QRコードから送信できます ⇒

電話の場合: 080-5830-2016

主催：NPO法人北海道総合地質学研究センター（HRCG）<https://www.hrcg.jp/>



講座内容

I. 北海道の大地形

－火山と山脈のコラボ－

II. 北海道の火山

－本州・千島弧の接合－

III. 日高山脈

－巨大プレート衝突－

IV. 夕張の石炭層

－大陸の時代－

V. 蝦夷の海

－1億年前のエゾ海盆－

VI. 渡島付加体

－北海道最古の地質体－



北海道総合地質学研究センターでは各種活動や公開講座等の情報をメールマガジン（HRCGニュースレター，不定期）で配信しています。購読をご希望の方はoffice@hrcg.jp宛までお申し込みください。

